

2025年日本国際博覧会



私たちは「日本の書道文化」の
ユネスコ無形文化遺産登録を
応援しています。

未来へつなぐ 日本の書

～空・海・時を超えて～

Japanese "SHODO" : Extending to the Future
～ Sailing over the sky, sea and time ～

会期

2025年

5月7日(水) - 11日(日)

午前10時～午後7時(予定)

(最終日は午後4時まで) ※入場は閉場30分前まで

会場

EXPOメッセ「WASSE」

オールジャパンの書が
世界のSHODOに

主催：公益社団法人日本書芸院、読売新聞社
特別協力：日本書道文化協会



文化勲章受章者
井茂 圭洞氏



OSAKA, KANSAI, JAPAN

EXPO
2025

ぜんぶのいのちと、ワクワクする未来へ。
Towards a brighter future for all

開催
期間 2025年4月13日(日) - 10月13日(月)
Period Sunday, 13 April to Monday, 13 October 2025

開催
場所 大阪 夢洲(ゆめしま)
Venue Yumeshima Island, Osaka City

日本の書を世界のSHODOへ

文化勲章受章者や文化功労者、日本芸術院会員など日本を代表する書家たちによる大阪・関西万博のテーマにちなんで現代書道作品を展示。最新技術を駆使した書の体験、ワークショップ、筆・墨・硯・紙の制作過程の実演、特大ビジョンによる書家の制作風景などの映像を通じて、日本の伝統文化である書を世界に発信します。

日本の代表作家展 -いのち輝く未来を“書”で描く-

日本を代表する作家をはじめ、次代を担う小学生～大学生の作品も展示



作品展示イメージ

特大ビジョン「“雅”VISION」(みやびじょん)で“書”を体感

10m×3mの特大ビジョンで日本を代表する書家の制作風景や席上揮毫の場面を迫力の映像でお届け。

和室展示 生活空間に生きる書&坪庭展示 宙に舞う書



和室イメージ図

日本の伝統的な生活空間である和室と坪庭を再現、書による空間演出を楽しむ。

書が生まれる瞬間に触れる -最新のテクノロジーを駆使した“書”体験-

Googleでの映像体験「筆舞幻影」

3Dデータを活用し、自由自在な視点で“書”の制作過程を体験。



エア書道体験「空書招来」

空中に書いた“書”が画面に現れる。



体験・体感 “Activity” -エンターテインメントとしての“書”の提供-

書家による席上揮毫・篆刻会

5月7日(水)、8日(木)、9日(金)、10日(土)、11日(日) いずれも午前11時から開催。



大学生による書道パフォーマンス

“書”を専門に学ぶ大学生たちが協力して1つの作品を揮毫。5月10日(土)、11日(日)、いずれも午前11時、午後2時の2回開催。

対話型鑑賞会

事前申し込み者と書家2名が、一緒に対話をしながら陳列作品を鑑賞。

1回5～10名程度、30～40分。5月7日(水)、8日(木)、9日(金)、10日(土)、いずれも午後3時から開催。

ワークショップ

うちわ、タンブラー、絵馬、お皿、ストラップなどに文字を書き、“書”を書く楽しさを体験。1回30名程度、5月7日(水)、8日(木)、9日(金)、10日(土)、終日開催。



水書にチャレンジ!

会場内に設置した大きな水書板に、水を含んだ毛筆で自由に字が書ける。

街なか書道体験

備えつけの用紙、筆ペンを使って気軽にだれでも書道を体験できる場。会期中、終日開催。

その他 職人による筆、墨、硯、紙づくりの実演

2025大阪・関西万博入場者は、どのイベントにも無料でご参加いただけます。

2025年日本国際博覧会「未来へつなぐ日本の書～空・海・時を超えて～」プレイイベント

「書道」のユネスコ無形文化遺産提案祝賀イベント併催 [2025年特別記念講演会・記念揮毫会]

日時：2025年4月23日(水)午後1時30分開演 会場：大阪国際会議場 5階 メインホール

記念講演会：宮田亮平・前文化庁長官 記念揮毫会：[漢字]高木聖雨 [仮名]黒田賢一 [漢字仮名交じり]永守蒼穹(敬称略)(予定)

主催：公益社団法人日本書芸院、読売新聞社、日本書道文化協会